

記者会見録(要旨)

日 時 令和7年7月28日(月) 午前10時から
場 所 第2応接室
出席者 ○市 側：市長、木村副市長、町田副市長、総合政策部長、財政部長
○記者側：12社14名参加
発表内容 ・北海道日本ハムファイターズ2軍施設の誘致について
・苫小牧市公式 Instagram アカウント開設について
・令和6年度各会計決算概要について

<案件について>

○苫小牧民報社

日本ハムファイターズ2軍施設の誘致の関係だったのですが、チャレンジという表現だったと思うのですが、どういう条件が整ったら次のステージというか。手を上げるような状況になるのでしょうか。

■市長

詳細はこの場ではまだ申し上げられないのですが、やはり場所それから我々としてどれぐらいの費用負担が生じるかということも含めて、これから様々な点について球団側と協議をしていかなければいけないという点がありますので、そういったものを一つ一つクリアしていけるように、これから進めてまいりたいと思っております。

○苫小牧民報社

場所ということだったのですが、苫小牧市さんとしてはどの辺をどうご検討されているのでしょうか。

■市長

こちらこの場ではまだお示しすることはできませんが、何カ所かを候補地として考えております。

○苫小牧民報社

わかりました。今駅前再整備とか体育館の話も公約のほうで出ていると思うのですが、そことの関連といいますか。それをやりつつ、そっちもやるという考え方になるのでしょうか。

■市長

今のエスコンフィールドの動きを見ていまして、やはり人の流れというものを考えますと、

交通拠点あるいは交通機関の利便性等を考えて、できるだけ人が往来しやすいところに、あるいは人が集まりやすいところというふうに考えることはある意味当然だと思います。駅前も含めいくつかの候補地を考えているところであります。

○苫小牧民報社

その件で、財源的な部分はクリアできるとお考えでしょうか。

■市長

今の段階では全くそこは見えておりませんが、様々な形でそこもクリアできるように進めてまいりたいと思っております。

○北海道新聞社

日本ハムファイターズ 2 軍施設の誘致のことでお伺いしたいのですが、2 軍誘致のライバル自治体がいる中で、苫小牧のどこをアピールしたいと思っていच्छいますか。

■市長

苫小牧としてはやはり交通アクセスの良さがあげられると思います。

それとやはり 1 軍と 2 軍の関連、連携等々もおそらく考えなくてはいけないと思いますので、北広島にあるエスコンフィールドとの距離感、交通アクセス、こういったところが我々としては非常にアピールポイントになるのではないかと考えております。

○北海道新聞社

既存のまちづくり計画も動いていると思うのですが、2 軍施設の誘致にどのように絡めていきたいと考えていच्छいますか。

■市長

駅前の再開発等を含め、様々な形で相乗効果を出せるようなことができればと思っておりますが、いくつか超えなければいけないハードルがございますので、そういうものも含めて協議していくことになろうかと思ひます。

○北海道新聞社

総合体育館の建て替えは財政シミュレーションベースで令和 30 年以降というように市議会で表明ありましたが、2 軍施設の誘致にお金がかかるというところも財政的な部分に絡んできた結果になるのでしょうか。

■市長

財政的なところは切り離して考えられないと思いますけれども、一方で球団側のスケジュール感もございますので、そこをなるべく合わせていきたいなと思っております。

○札幌テレビ放送

日本ハムファイターズ2軍施設の誘致の件で、再度質問させていただければと思います。

官民での連携、地域全体での誘致の機運を高めるという話を書いてありましたけれど、官民との連携の部分、具体的な今後の動きといたしますか、何か決まっているものはありますでしょうか。

■市長

現段階でお示しできるものはございませんが、報道以降、私のところにも手書きの誘致を希望する熱烈なお手紙を数通いただいておりますし、それ以外にも誘致を望む声が非常に多く寄せられておりますので、既にそういった機運は醸成されてきていると思います。

ただ公共だけでできるものではないと思っておりますので、財政的な部分も含めまして、官民一体となって幅広く声をかけ、誘致にチャレンジしていきたいと思っております。

○札幌テレビ放送

候補地のお話の中で、既に市長のほうでは候補地はいくつかお考えがあるという中で、苫小牧市内にそういう候補地があるというお考えだと思うのですが、今後候補地を詳しく選定して、球団のほうにアピールといたしますか、そういったスケジュール感といたしますか、いつごろまでに候補地をファイターズのほうに提示したいとを考えていらっしゃるのでしょうか。

■市長

これまでも球団側と接触は持っておりますので、その中ではいくつかお話はしておりますが、いつという時期は申し上げられませんが、できるだけ早く球団側のスケジュールに合うような形で我々もいい提案をしていきたいと思っております。

○札幌テレビ放送

球団との情報交換といたしますか、話し合いの中では結構話は進んでいらっしゃるのでしょうか。今どのような段階になっているのでしょうか。

■市長

詳細は申し上げられませんが、何回か接触はしております。

○朝日新聞社

今手元に市長が先ほど述べられたコメントがあるのですが、1つ国語的に気になるのが、仮定の話ではなくてかなり断定的に自信を持って、誘致に対する姿勢を述べられているところだと思うのですが、かなり勝算がおありだというふうに市長ご自身はお感じになっているのかどうかお聞かせください。

■市長

現段階では、勝算については申し上げる段階にないと思います。

○朝日新聞社

普通こういうときには仮に2軍施設が誘致できれば、地域の活性化など幅広い部分に期待できると考えていますというような言い方が一般的だと思うのですが、もう既に日本ハムが苫小牧に2軍施設をつくるというようなことを表明したときの市長コメントのように聞こえるのですが、これは考えすぎでしょうか。

■市長

考えすぎかと思います。

○朝日新聞社

市内に複数の候補地を当てているということなのですが、例えば規模でいうとどれくらいの広さというのは明らかにしていただけないでしょうか。

■市長

その点も明らかにできませんが、例えばスタジアムを作る、あるいは、報道ベースですけども、もう既に球団側でこのようなイメージのパーツのようなものを出されておりますが、ああいうものを作ろうとしたときには、ある程度これぐらいのスペースが必要だろうなというものは見えておりますので、そういう中でどこがいいかというのをこれから決めて提案していくことになろうかと思います。

○朝日新聞社

これから苫小牧市としては駅前再開発事業もそうですし、総合体育館のリニューアルもそうですが、かなり巨費を投じる事業というのが続くと思うのですが、この2軍施設の誘致との優先順位というのはどれくらいのポジションに今あるのかということと、それから市長は前の岩倉市長時代もそうでしたけれども、IRの誘致もまだ諦めていない、今日の言葉を借りると挑戦を続けていくというような言葉も伺ったことがあるのですが、2軍施設の誘致とIR、これは両立するものなのかどうなのか今のお考えをお聞かせください。

■市長

その辺は今後しっかり検討していかなければいけないと思います。私は両立できるものと思います。

ただ一方で先ほど申し上げたとおり財源も含めて、我々自治体がどれだけ負担するのかというところをしっかりと見極めていかなければいけない。これはまちとしての投資ですので、しっかりとそこは見極めたうえで事業を進めるかどうかという判断をしなければいけないと思っています。

○朝日新聞社

優先順位ということと言うと、総合体育館を作るにあたり 2 軍ボールパークの中に建設するという方向でいくのかあるいは別々に考えるのか、その辺はどうなのでしょう。

■市長

その辺はもう少し今の段階では柔軟に考えていいと思っています。いくつかのパターンといいますかあり方を考えていいと思いますし、今あったようなお話も非常に魅力的なアイデアではないかなと思いますので、そういったものも含めて協議をしていきたいと思っています。

○北海道建設新聞社

日本ハムファイターズ 2 軍施設の誘致についてお尋ねしたいのですが、苫小牧市がこれから再エネであったり次世代エネルギーの関連で民間事業者による大型事業というのが集中する中で、やはり産業都市というイメージが非常に強いのかなと思うのですが、そういった中でこうやってプロ野球球団の 2 軍とはいえ、施設が来る可能性があるということはかなり存在感のある事業なのかなと思うのですが、そういった中でまちづくりとして考えたときに、産業都市であるがゆえの悩みかと思うのですが、日ハムの施設をもし誘致することができた場合、どういったまちにしていきたいかというのを市長から一言いただけないかなと思います。

■市長

おっしゃられるとおり産業都市として発展をしてきておりますので、苫小牧市のそういうイメージはあろうかと思いますが、一方全国で初めてスポーツ都市宣言をしたまちでもありますので、まさに今日高校のアイスホッケー全国大会開会式が夕方ございますが、様々なスポーツの振興にも取り組んできておりますし、レッドイーグルス北海道も市内在住のプロスポーツチームとしてございますし、そこに新たに北海道に根ざしてきた北海道日本ハムファイターズというチームの施設が来ることで、スポーツ振興はもちろん経済の活性化あるいは様々な形でのまちの賑わいというものが、さらに創出されるものという期待をしております。

○北海道建設新聞社

もう一点財政負担についてお尋ねしたかったのですが、同じようなスポーツ施設という大きなくくりで言うと総合体育館を今後どうするかというお話もあるかと思うのですけれども、そういった中で一種の公共施設、市民のための施設をほったらかしじゃないですけれどもしたうえで、日ハムの施設を誘致するのにお金を使うとなると、やはり一定の市民からの反発というのも考えられるのかなと思うのですが、そういった市民理解というところに関してはどのようにお考えでしょうか。

■市長

私に今寄せられている市民の声としてはマイナスのお考えのものは一切なく、単純に日本ハムファイターズの2軍施設を希望する声がほとんどです。

私としては、総合体育館をないがしろにしてということは全く考えておりませんし、先ほど申し上げたとおり、何か様々な形で利用者を連携させることができれば、それはもう一番いい形だとは思いますが。財源も含めていろいろと協議しなければいけない点がございますので、それはこれからということになるかと思えます。

○朝日新聞社

Instagram アカウントの関係で確認なのですが、開設日の7月9日というのは何か意味があるのでしょうか。例えばこれ2日前だと、令和7年7月7日スリーセブンという非常におめでたい日のようにも感じるのですが、この7月9日は何か苫小牧市にとって特別な日なのか。

■総合政策部長

開設日に特別な意味はございません。

○朝日新聞社

配信頻度の中に週1、2が多いでしょうけど18時、20時というのがあって、これは今働き方改革の時代なので、この時間帯に配信はするけど実質的には職員の方がこれよりも前に仕込んでタイマー配信をするというような理解認識で間違いないでしょうか。

■総合政策部長

はい、そのとおりでございます。

＜その他 案件以外について＞

○苦小牧民報社

アメリカと関税の合意が決まったということだったのですが、それを受けた市長の受け止めと、このまちにどういう影響が考えられるのかというのを教えていただけないでしょうか。

■市長

トランプさんが2回目の当選をされた直後から関税に関する話というのはずっと様々な展開がされておりますけれども、やはり製造業、特に自動車関連産業に対する影響というのは私も就任以来ずっと注視をしてきております。

そのような中で今回 15%ということで合意したわけでございますけれども、これは引き続きどういう影響があるかというのは注視をしていかなければいけないものと思います。それが日本国内における、その在庫の持ち方等々に影響が出てくることは可能性としては間違いなくありますので、それによって製造、稼働、あるいはこういったものに対して企業がどのように対応していくのか、そのあたりは雇用とも関わってくるところだと思いますので、引き続きその動きを注視してまいりたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

7月20日過ぎに新市民文化ホールの説明会がありまして、ここで正式に利用料金が公表されました。やはり条例で掲げられていた上限額いっぱいの設定になっていまして、子供たちの団体ですとか、いろいろな文化団体から、今の文化会館と比較すると高くなってしまうということで、このままでは他のところを考えなくてはいけない可能性があるという、他のアイビープラザですとか、三星さんのハスカップホールですとか。そういった選択肢が浮上している中で、今後今市が検討されている補助金がどれだけ出るかということ、皆さん非常に注視しているという状況があるのですが、市長としてこれから予算の折衝時期になってくるかと思うのですが、ここへの補助のあり方というのをどのように考えて確保していくおつもりなのかというのをお聞かせいただけますか。

■市長

やはり市民文化ホールは、市民にとって使いやすい親しみやすいホールにならなければいけないというのは私も思っておりますので、利用料金も現行の利用料金と比較をいたしまして、できるだけ近い形で補助のあり方を検討していきたいと思っております。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

現行にできるだけ近いというのは初めて聞いたのですが、現行に近いとなるとかなり補助をつけるということになるかと思うのですがそれで間違いはないでしょうか。

■市長

はい。来年度予算に向けてなので、これから財政協議も始まると思いますけれども、やはり財源をどう捻出するかというところが非常にポイントになりますので、私の思いは申し上げたとおりでございますが、そこにどこまで近づけられるかそれはこれから取り組んでまいります。

○紙の街の小さな新聞社ひらく

時期についてなのですが、やはり皆さんできるだけ早く予約を取りたいとか、いろいろな準備があるので、そこら辺見極められる時期というのをできるだけ早くお示しいただきたいという声も結構出ているのですが、予算なので議会時期にどうしても決定となってしまうというのはわかるのですが、できれば年内に方針でも大体こういう感じになりますよというのをお伝えいたしたいという声も取材していて多いなと感じるのですが、そのスケジュール的なものをどのようにして取り組んでいけますか。

■市長

今のこの段階でいつというのは申し上げられませんが、今記者さんからもありましたようにそういう声があるのも私も承知しておりますので、できるだけ早く話がまとまってお示しできるようになればと思っております。

○北海道新聞社

総合体育館の話なのですが、先ほども2軍施設と体育館利用者が連携していければというお話だったと思いますが、一方で市議会での財政シミュレーションベースで令和30年以降と明らかにしていますけれども、市長公約の中にもまちなかへの総合アリーナ建設を掲げていらっしゃいますが、任期内での実現は難しいというような理解でよろしいでしょうか。

■市長

正確に申し上げますと市長公約には、「まちなかへの総合アリーナ建設に向けた構想策定に着手」と私は出させていただいておりますので、任期中に必ずしも建て替えを行うということではないということをまずご理解いただきたいと思います。

そういった中で、あくまで財政シミュレーションをした中では令和30年以降ということでございますけれども、それでいいというように私も思っているわけではございませんので、議会でもいろいろ議論させていただいておりますけれども、様々な官民連携も含めて今後も協議していきたいと思っております。

○北海道新聞社

IRのお話もお伺いしたいのですけれども、国が第2の候補地選定を始める動きもありますし、その参院選後に選定作業に入るという話もあります。苫小牧市として誘致に向けてどうい

うふうに取り組んでいくのか、考え方を教えていただけないでしょうか。

■市長

統合型リゾート候補地選定につきましては、現時点で国から正式なアナウンスがされているわけではないということでございますけれども、市としては残りの認定地域2枠の国の考え方などにつきまして情報収集を行っておりまして、来たるべき募集の時期に向けて、誘致の取り組みを継続しているところでございます。

私としまして、統合型リゾートはチャレンジすべきテーマとして公約にも掲げさせていただいておりますので、国際リゾート構想の推進はこれからも進めてまいりたいと思っております。なお申請主体である北海道としましては、IRが北海道の発展に寄与する可能性が期待できるプロジェクトである一方で、課題があるとしておりまして、今後北海道らしいIRコンセプトの構築に向けまして、長期的な視点に立って検討を進めると伺っております。

知事が2019年に認定申請を見送って以降、大阪のIRが認定されたほか、この地域でも半導体企業や大規模データセンターの進出あるいはGXの推進など新しい産業の集積展開が進んでおりますので、様々な外的環境の変化があったと思います。

いずれにしても統合型リゾートを含めた国際リゾート構想は、北海道全体の発展に資するものと思っておりますので、引き続き北海道とも連携しながら実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。

○朝日新聞社

先日の参院選以降、自民党で両院議員懇談会が開催される動きになっているのですが、石破首相に対して退陣を求める声というのが与野党から強く上がっている反面、世論調査の一部の結果では、自民党の支持者であっても辞める必要はないという声が大勢を占めていてかなり混乱しているのですが、これはかつて自民党に籍を置かれた政治家の一人として今の自民党の混乱ぶりですとか、あるいは石破首相を始めとする現執行部の責任の取り方について市長どのようにお考えかお聞かせください。

■市長

いろいろと政治的な動きは私も報道あるいは様々な方からのお話の中で把握しておりますけれども、今の石破政権は小学校の給食の無償化等も含め、あるいは物価高騰対策等も含めて、非常に一生懸命国民のためになる施策を打っているものと思います。

ただ一方で選挙という意味においては、自民党が議席を減らした自公連立ということで考えますと、非常に厳しい結果だったとは思いますが、大事なやはり国民、あるいは我々にとって、市民にとって、生活向上、物価高騰の対策もそうですし、今我々がチャレンジしようとしている様々な取り組みに関わる国の支援補助制度、こういったものに影響が出ないように政権運営をしていただくことが大事だと思っておりますので、今日の両院懇談会ですとか、

こういったものを受けて 8 月 1 日の臨時国会召集等々、動きがこれからあると思いますが、とにかく国民重視の国政運営を心がけていただきたいと思っております。

○北海道新聞社

市長はいつもスーツのイメージなのですが、今日のお召し物は何か理由があるのでしょうか。

■市長

今年の港まつりが金曜日から始まりますけれども、その T シャツが新しくできましたので PR も兼ねて今日着させていただきました。

今回第 70 回という節目のお祭りでもございますので、ぜひ多くの市民の皆さんあるいは市外からも来ていただきたいと思います。

また姉妹都市の日光市からは新しく市長に就任した瀬高市長が来られるのですが、この方は苫小牧市のご出身でアイスホッケー選手でもあった方なので、非常にそういった意味でも私も長いお付き合いをさせていただいている方ですけども、八王子市からは副市長さんも来られますし、この 70 回という節目のときにそういったことで苫小牧市出身の日光市長が来られるということも非常に歓迎したいことですので、そういう意味合いも含めて今日この T シャツを着させていただきました。